

繊維・染織部会編

繊維・染織部会の服部部会長が、「今河織物株式会社」を訪問し、今河社長からお話しをお伺いしました。



左から今河社長、服部部会長

大正元年に西陣で創業されてから、今年で102年になる今河織物株式会社。熟練の職人さんたちが、6台の織機で西陣織の着物と帯を日々制作されています。若くして社長を継がれた今河社長は和装業界の将来を見据え、今年、新卒の職人さんを採用されるなど、人材育成にも積極的に取り組まれています。「WEB上でコーディネートを提案したり、東京で開催されるきものサロネに出

展するなど、消費者を意識した商品作りを心がけている」と、今河社長。

服部部会長からは、「繊維・染織部会の今期の事業では『和装』のユネスコ無形文化遺産登録を視野に入れた機運熟成を行っていきたくて考えており、伝統技術を後世に継承していくためにも、若い今河社長に期待を寄せている」とエールを送り、引き続き、部会活動への協力をお願いしました。

今河織物株式会社

代表者／今河 宗一郎
住 所／京都市上京区五辻通七本松西入東柳町 558
TEL / 075-461-1212
事業内容／西陣着尺・帯地の制作

【繊維・染織部会データ】

部会長 服部 正毅 (服部織物株式会社 代表取締役専務)
部会員数 844件 (7月22日現在)

繊維・染織部会では、従来の業種・業界の枠を越えた部会員相互の交流・セミナー等を通じて会員メリットにつながる事業を実施しています。

今年度の主な予定
10月・3月
「部会・講演会」

こんにちは！○○部会です。 部会長の部会員訪問

各部会の部会長が、それぞれの部会員を訪問。部会員のみなさまの声をお伺いし、部会の魅力を伝えます。

観光・運輸部会編

観光・運輸部会の岩井部会長が、「よしもと祇園花月」を訪問し、白仁田支配人からお話しをお伺いしました。



白仁田支配人(左)と人気キャラクター「茂造じいさん」(中央)。

今年で3周年を迎えられたよしもと祇園花月は、株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシーが運営するお笑いの劇場です。かつて京都市民に親しまれていた京都花月劇場が1987年に閉館され、その後再び常設劇場を京都にとの機運が高まり、24年ぶりに復活しました。

「お客様の大半は地元の人。客席と演者の距離が近いよしもと祇園花月ならではの舞台を生かし、お客様を巻き込んだ演出や、京都にお住まい・

勤務されている方対象にチケットを安く販売するなど、京都の人に親しんでいただけるよしもと祇園花月にしたい」と明るく語る白仁田支配人。

岩井部会長からは、「京都によしもとが戻ってきた感覚で身近に感じます」とコメント。「地域活性化に向けた取組みに協力したい」と熱い想いを持っていらっしゃる白仁田支配人に、部会事業との連携を提案するとともに、引き続き部会活動への参加や協力をお願いしました。

よしもと祇園花月

(株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシー)

代表者／岡本 昭彦
住 所／京都市東山区祇園町北側323 祇園会館内
TEL / 075-532-1500
事業内容／祇園花月の運営
マネジメント・TV及び演芸・演劇の制作・配給・興行

【観光・運輸部会データ】

部会長 岩井 一路 (株式会社ハトヤ観光 代表取締役社長)
部会員数 1,445件 (7月22日現在)

観光・運輸部会では、「和」の心を大切に、オール京都の観光・運輸振興を図る」ことをモットーに、毎年公開シンポジウムや視察見学会、部会員交流会など多彩な催しを行っています。是非ご参加ください。

今年度の主な予定
11月頃 公開シンポジウム
3月頃 部会員交流会